

## 一般質問

# 市の明日を考える!

6月定例会の一般質問は、6月8日から6月10日の3日間行われました。今回の定例会では、新型コロナウイルス感染症対策として、長時間の三密を避けるため、登壇者を一会派二人以内に制限し質問時間の短縮に努めた結果、合計10人の議員により議論が展開されました。主な質問については、各議員から寄せられた原稿を原文のまま掲載いたします。



質問者ごとにQRコードを掲載しています。

スマートフォンなどで読みとっていただきますと、録画映像をご覧ください。

[発言順]



加藤 建也

[無所属]

## 新型コロナウイルス収束後の観光支援策は

### 本市の感染対策の行動指針は

**問** 市内観光客回復への観光振興事業費1,300万円補正予算は、いつから実施予定か。

**答** 令和2年7月中を目標としている。

**問** 「観光誘客支援事業」のパターンは。

**答** 2万円券が200枚、1万円券が500枚、5千円券が200枚を予定している。

**問** インターネット予約サイトからクーポン券を取ると聞いているが窓口対応の考えは。

**答** 紙ベースでの取り扱いが難しいことから、現時点ではこのシステムでスタートさせてほしい。

**問** 本市の感染対策、安心・安全をどのように市民に周知していくのか。

**答** 市民への周知は、現在、緊急事態宣言が解除されたとはいえ、ワクチンや治療薬も開発されていないことから、未だ不明な点が多い感染症であり、諸外国や国内においても、行動制限解除後に感染の再拡大が起こった例も複数報告されるなど、長期的な対応が必要であることから、現時点において「安全・安心」を周知するのは難しいと考えている。

## 新型コロナウイルス対策は

### 二本松城文化観光施設の観光面での魅力は



坂本 和広

[真誠会]

**問** 感染拡大第2波を想定して行う準備内容は。

**答** これまでの予防対策の周知に万全を期すことのほか、市内の医療機関を守り、医療体制を崩壊させないためにも、安達地方発熱外来を設置するとともに衛生備蓄品の提供に努めていく。

**問** 災害発生時の避難所等に対する感染症対策は。

**答** 避難所の過密状態を避けるため、指定避難所だけではなく、地区の集会所等への分散型避難の検討や、市内のホテルや旅館を避難所として活用する取り組みについても協議を進める。

**問** 文化観光施設の体験メニューを中心としたプランとは。

**答** 城内散策体験映像など360度サラウンドシアターを駆使した臨場感体験や、提灯絵付け、和菓子作り、着付け等の実体験を計画している。

**問** 市民にもより積極的に利用してもらう方策は。

**答** 屋外ステージや多目的広場に仮設店舗やキッチンカーを配置し飲食の提供もできるようにするとともに、にほんまつDMOをはじめ関係機関と連携し、魅力向上を目指していきたい。



## 佐久間 好夫

[真誠会]

**問** 岩代・東和地域における工業団地適地調査の予定はあるのか。

**答** 適地の調査は、市全体の中での調査、検討をしていきたいと考えており、本年度から庁内関係部署や商工団体等と連携し、情報収集や現地調査などに取り組んでいきたい。

**問** 旧東和町における実施設計済み未造成地の検討状況は。

**答** 市全体の適地調査等の結果も踏まえ、企業の要望に沿いながら、基本的にはオーダーメイド方

工業団地適地調査の計画は

市道の整備計画は

式により個別に対応を考えている。

**問** 1級市道針道・西谷線の改良計画進捗状況は。  
**答** 新総合計画の生活幹線道路整備事業として、過疎対策事業債を財源として計画している。

**問** 富岡興業(株)旧産業廃棄物最終処分場の浸出水処理の状況は。

**答** 県に確認したところ、現場管理社員は1～2名体制で、毎週水質検査を行い、問題なければ翌週木曜日に口太川へ放流しており、これは平成23年から始まり当面は継続されるとのこと。

上水道未普及地域解消策は



## 安齋 政保

[市政会]



**問** 令和2年3月定例会代表質問の答弁において、水道未普及地域解消に向けて、現計画の中での変更で対応できるのか、もしくは、新たな計画の中で対応していくのか、現在調整中とのことであったが、どのように方針を出されたのか。

**答** 未普及地域解消事業を進めるには、現在の給水区域を変更して、事業認可申請を行う必要があるため、福島県と協議を行った結果、広域的に未普及地域を解消するには、新たな拡

張計画が必要であるとのことであり、また、現在、実施している第6次拡張事業を途中で終わらせ、残りの事業を新たな計画に組み入れることも可能であるとのことであった。以上のことから、井戸水の安全性の問題の早期解決や、生活用水確保が困難な未普及地域解消を図るため、現第6次拡張事業を本年度で終結させ、新たな第7次拡張計画を策定することとし、検討を進めているところである。



## 平 敏子

[日本共産党二本松市議団]

介護保険次期計画の改正点と特徴は

高齢者にやさしい住まいづくり事業復活は

**問** 介護保険次期計画の改正点と特徴は。

**答** 現段階では、①健康寿命の延伸のための介護予防・健康づくりの推進②地域保険としての地域のつながり機能・マネジメント機能による保険者機能の強化③多様なニーズに対応した介護の提供・整備を図る地域包括ケアシステムの推進④認知症施策の総合的な推進⑤持続可能な制度構築・介護現場の革新、ということなどが、国から示されている。特徴としては、地域に生きる一人ひとりが尊

重され、多様な経路でつながり参画することで、生きる力や可能性を最大限発揮できる「地域共生社会」の実現に向け、中核的基盤となり得る地域包括ケアシステム構築を推し進め、介護保険制度の持続可能性を確保することを柱とする計画が予定されている。

**問** 今年度廃止となった「高齢者のやさしい住まいづくり助成事業」の復活はできないか。

**答** 今後は、ほんとの空体操、いきいき百歳体操の普及など、高齢者の介護予防に努めていく。